

MySQL 5.5.14 リリースノート（日本語翻訳）

機能の追加または変更

- **矛盾を含む可能性がある変更:** 監査プラグインのインタフェースで、`event_class` メンバーが `mysql_event_general` 構造から移動され、通知関数の呼び出しシーケンスが変更された。従来は、第 2 引数がイベント構造を指すポインタだったが、現在は 2 つの引数、すなわちイベントクラス番号とそのイベントを指すポインタからこの情報を受け取るようになっている。これらの変更に対応して、`MYSQL_AUDIT_INTERFACE_VERSION` は `0x0300` に引き上げられた。

`plugin_audit.h` ヘッダファイルと、`plugin/audit_null` ディレクトリにある `NULL_AUDIT` のサンプルプラグインは、これらの変更に伴って変更された。[22.2.4.8 節「Writing Audit Plugins」](#) を参照。

- **InnoDB ストレージエンジン:** 現在、InnoDB では、セカンダリインデックスの作成中に同時読み取りが可能になっている（Bug #11853126）。

Bug #11751388、Bug #11784056、Bug #11815600 も参照。

- Linux における **CMake** 構成のサポートに、**gcov** のサポートを含むかどうかを制御するブール値の `ENABLE_GCOV` オプションが追加された（Bug #12549572）。
- クライアントプログラムでは現在、接続に関する問題の診断とデバッグに役立つように、SSL エラーの詳細な情報が表示されている（Bug #21287、Bug #11745920）。

修正されたバグ

- **レプリケーション:** スレッドのクリーンアップに誤りがあると、レプリケーションマスタがクラッシュする可能性があった（Bug #12578441）。
- **レプリケーション:** 行ベースのレプリケーションと、属性の昇格および降格（[15.4.1.6.2 節「Replication of Columns Having Different Data Types」](#) を参照）を使用するとき、BLOB カラムの変換用に内部的に割り当てられているメモリがその後も解放されなかった（Bug #12558519）。

- Windows 認証のサポートを libmysql に追加すると、システムの Secur32 ライブラリでリンク依存関係が発生した。Microsoft Visual C++ のリンク情報は、このライブラリを自動的に取得するようになっている (Bug #12612143)。
- Query_tables_list::sroutines() に割り当てられたメモリが適切に解放されない場合があった (Bug #12429877)。
- Bug #11889186 の修正後に、MAKEDATE() の引数に 9999 より大きい年を指定すると、表明が発生した (Bug #12403504)。
- Item_func_round::fix_length_and_dec() で NULL 値チェックがないために、表明が発生する可能性があった (Bug #12392636)。
- トランザクションコーディネータのログとしてバイナリログを使用した場合、2 フェーズコミットの際に表明が発生する可能性があった (Bug #12346411)。
- MySQL 5.5.11 で発生した問題のために、非常に古い (MySQL 4.0) クライアントがサーバに接続できなかった (Bug #61222、Bug #12563279)。
- 有効になっている既存のイベントに対して CREATE EVENT IF NOT EXISTS を使用すると、イベントの複数のインスタンスが実行された (Bug #61005、Bug #12546938)。
- 埋め込みクライアントが TEE コマンド (¥T file_name) を発行し、file_name のファイルを含むディレクトリが存在しなかった場合に、エラーメッセージが発行されずに異常終了した。これは誤ったエラーハンドラが呼び出されることが原因だった (Bug #57491、Bug #11764633)。
- ALTER EVENT で、イベントのステータスが変更される可能性があった (Bug #57156、Bug #11764334)。
- 一部のプラットフォームでは、LOAD DATA INFILE によって生成される「Incorrect value: xxx for column yyy at row zzz」のエラーで、zzz の値が正しくない可能性があった (Bug #46895、Bug #11755168)。
- インストール中に、存在しないファイルをインストールしようとする動作が修正された (Bug #43247、Bug #11752142)。
- FreeBSD 64 ビットビルドの埋め込みサーバで、埋め込まれているアプリケーションに例外が伝播することが許容されていた (Bug #38965、Bug #11749418)。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。